



リフレクス ブラスター LEDコンバージョンキット 取扱い説明書〈12V車用〉

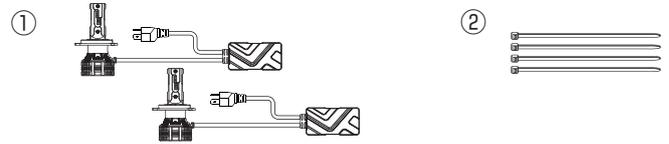
この度は、CATZ製品をお買上げ頂きまして誠にありがとうございます。
正しく、安全にお使いいただくために、ご使用前に本「取扱い説明書」をよくお読みください。
また、本製品をご使用頂く間、この取扱い説明書を紛失しないよう大切に保管してください。

製品仕様

本書対応バルブ H4
使用電圧範囲 DC11V~16V
消費電力 12V/60W/55W

部品構成

①LEDバルブ 2個
②タイラップ 4個

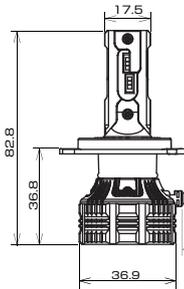


⚠ 取付作業を行う前に

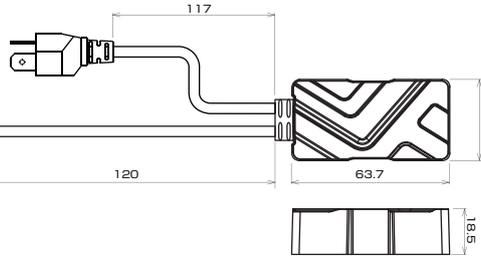
※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 本製品の発光色は、車検対応の白色の範囲以内に位置しておりますが、車検場によっては、車検検査官の目視により判断を行っており、灯具によっては車検に通らない場合があります。その場合は、ノーマルバルブに戻してください。
- LEDバルブの取付作業を行う前に、ノギスなどの測定器具を使い、バルブ取付面を基準とし、灯具内後方クリアランスの確認を行ってください。下記の寸法に満たない場合は、取付けを中止してください。
ヘッドライトからLEDバルブ脱着に必要な寸法は、ハロゲンバルブ後方から73mm以上必要です。
※装着推奨値 バルブ中心から直径 45mm以上 ・H4 バルブ取付け面から灯具内 56mm以上
バルブ取付け面から後方 52mm以上

○LEDバルブ寸法



○ドライバー寸法



⚠ 安全に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

- LEDバルブを直接触ったり、油膜等の汚れを付着させないでください。汚れを付着させたまま使用しますと、バルブの損傷や灯具への損傷を与える恐れがありますので、万一は、汚れが付着した場合、アルコール系の洗浄液で脱脂綿等にしみこませ、油分や汚れをふきとってください。
- 点灯中や点灯直後はランプやバルブ、ドライバーが熱いので手や肌など触れないでください。ヤケドの原因となる場合があります。作業は、ランプスイッチをOFFにし、ランプが冷えてから行ってください。
- 点灯中の光を間近で長時間見つめないでください。目が痛くなったり、視力障害の原因となります。
- 火災の原因となりますので、紙や布などでランプ本体をおおったり、燃えやすいものや引火する危険性の雰囲気（ガソリン可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉じんなど）で使用しないでください。
- 分解、改造は行わないでください。火災、ケガ、故障の原因となります。
- 走行中に異常な振動や音等を感じたら、直ちに安全な場所へ停車し、よく点検を行ってください。
- 幼児の手に届く場所には、おかないでください。飲み込んだり、ケガの原因となる事があります。

⚠ 使用に関するご注意

※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 本製品は、12ボルト(V)車両の純正ヘッドランプ専用バルブです。12ボルト(V)自動車以外の用途には使用しないでください。
- 本製品は耐水、耐塵設計になっておりますが、水や泥、粉塵等が直接触れないようにしてください。整備、清掃等で、ウォッシャーやオイル、ケミカル類がかからないように注意してください。
- 車両に下記の装備が装着されている車両は、純正バルブの装着を前提に設計されている為、本製品を装着すると正常に作動しなくなる恐れがあります。本製品を使用したことによる車両装置の誤作動や動作不良、それらにより発生した事故や損害については一切の責任を負いかねますので予めご了承願います。
・衝突被害軽減ブレーキ ・クルーズコントロール ・車線逸脱防止支援システム ・誤発進抑制制御機能 ・クリアランスソナー
・駐車支援システム ・AFS ・その他、カメラ、ミリ波レーダー、赤外線レーザー、超音波を使用した装置
- 本製品の光源はLEDを使用しております。ハロゲンバルブの様に光源のみを交換することはできません。
- 点灯すると冷却ファンの音やオーディオ・ラジオ等にノイズが入る場合がありますが、故障ではありません。
- LEDバルブに変えることにより、ケルビンが同じH.I.D.やハロゲンと色味が違う場合があります。また、取り付けるヘッドライトにより明るさ、発光色が異なって見える場合があります。
- 一部の車両で、球切れ警告灯が点灯したり、CANシステムの影響によりヘッドライトスイッチがOFF時にも車両側が微電流を流し、LEDバルブがかすかに点灯する場合があります。この様な場合は、ご使用をお止めください。
- エンジンが停止している時は、バッテリー保護の為、長時間の点灯をさけてください。
- コードのグロメット根元で急激に曲げないでください。防水性が低下し水、ホコリが浸入する恐れや断線する事があります。
- アイドリングストップ車両などに取付けた場合は、エンジン始動時、一瞬消えたり、チラつく事があります。
- バルブを交換する時は、定格、口金形状を事前に確認し、確実に装着してください。
- 本製品はハロゲンバルブに比べ発熱量が少ない為、ヘッドライトに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。予めご了承願います。

⚠ 取扱(取付)に関するご注意 ※ご使用になる前に必ずお読みください。

- 作業は平らな場所で、車両が動きださないように安全を確保してから行ってください。
- エンジンルームが十分に冷えてから取付作業を行ってください。ヤケドの原因となります。
- LEDバルブのパッキンが固い為、ランプに装着する際、元のバルブより装着しにくい場合があります。
- コネクターを外す際は、コードを引っ張らず、コネクター本体を持って外してください。
- エンジン、ランプスイッチをOFFにし、エンジンルームが十分に冷えてから、バッテリーのマイナス端子を外すか、車両取扱説明書でヒューズの位置を確認しヒューズボックスからヘッドライトのヒューズを外して作業を行ってください。ショートによる故障の原因になることがあります。
- 本製品の配線コードやドライバーケースを発熱する箇所へ固定したり、接触しないように取付けてください。
- 本製品を取付けの際には、本取扱説明書、及び車両メーカー作成の作業マニュアル、電気配線図に従い、注意して作業を行ってください。
- ランプ本体が確実に固定されているか確認を行ってください。取付けが不完全な場合、バルブの落下の原因となります。
- 作業終了後は、必ず、光軸の確認及び調整を行ってください。

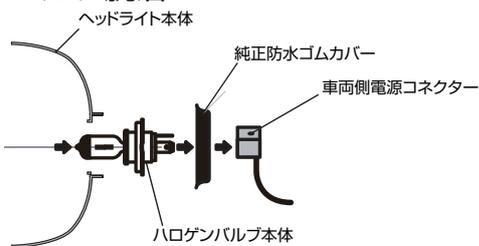
取付手順

LEDバルブの取付け手順

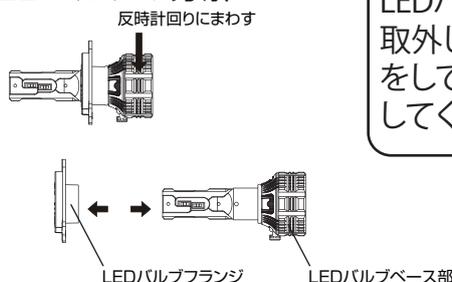
ヘッドライトバルブの脱着の際は、車両メーカーマニュアルを確認の上、安全に作業を行ってください。
 ※車両によっては、ヘッドライトの脱着が必要な場合があります。

1. 純正バルブの取付状態を確認してください。純正ハロゲンバルブの電源カプラーを外してください。
2. 純正ハロゲンバルブを外してください。
3. LEDバルブ本体のフランジ部とベース部に分解します。フランジ端に注意してケガの無い様に作業してください。
 フランジ部を固定した状態でベース部を反時計方向へ回しロックを解除してから慎重にベース部を引き出してください。

①ハロゲンバルブ脱着



②LEDバルブの分解



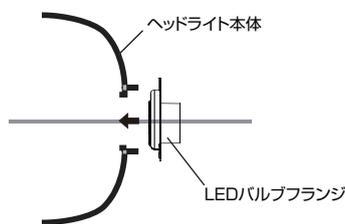
ご注意

LEDバルブフランジの取付
 取外しの際は、手袋(軍手など)
 をして、ケガの無いように作業
 してください。

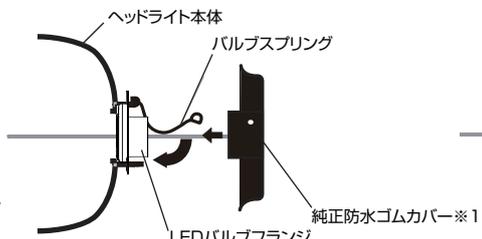
※装着時、LEDに直接触れたり、灯具に接触させないように注意し、作業を行ってください。
 LEDバルブを各形状に合わせ挿入取付けしてください。※車両メーカーマニュアルを参照してください。

4. LEDバルブフランジ部をヘッドライト本体に取付けます。
5. LEDバルブフランジ部をヘッドライト本体の固定スプリングで固定した後、純正防水ゴムカバーを取付けます。※1
6. ヘッドライトに取付けたLEDバルブフランジ部へベース部を挿入後、時計回りに回転させ、フランジ部をロックしてください。※フランジ部へベース部を挿入の際、回転させバルブ電源線が下図のように下側に来るように装着してください。

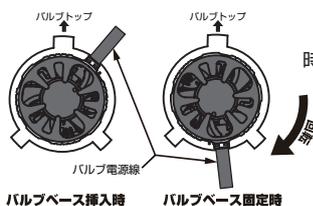
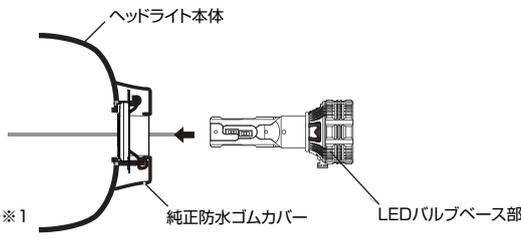
①フランジ固定



②純正防水ゴムカバー固定

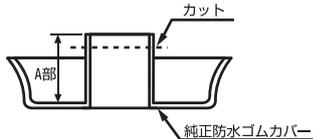


③ベース部固定



※1

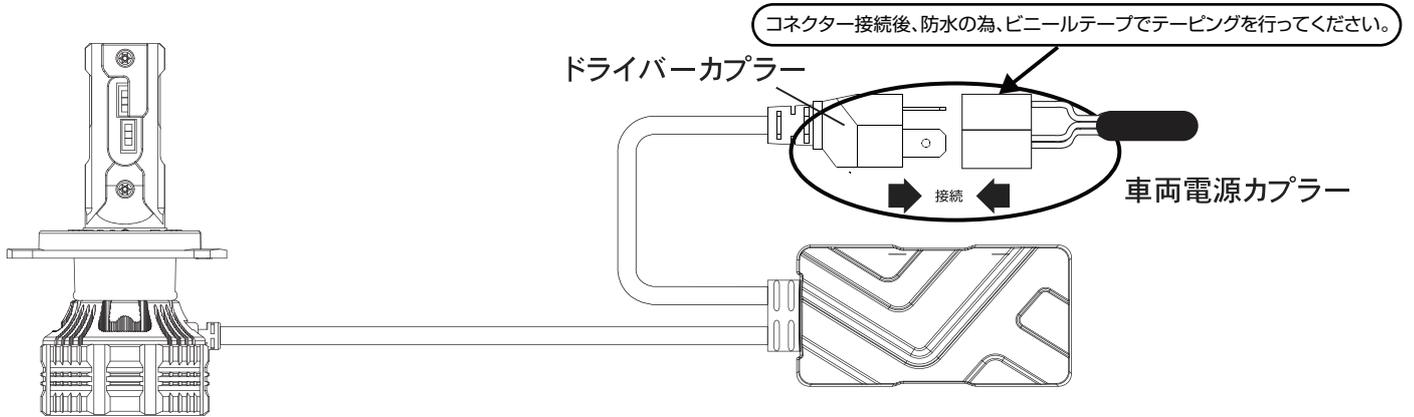
純正防水ゴムカバーA部が長くバルブが正常に固定できない場合、純正防水ゴムカバーA部をカットして下さい。
 カットする際、短くしすぎないように、確認しながら防水ゴムカバーA部をカットしてください。



取付手順

配線の接続

- 1.取付手順6まで装着したLEDバルブに、下記イラストのとおりカプラーを接続してください。
車両電源カプラーとドライバーカプラーを接続してください。
- 2.LEDドライバーは、車両のボディーに付属のタイラップ等を使用し固定してください。



取付手順

点灯確認及び部品戻し

- 1.エンジンを始動し、ヘッドライトスイッチをONにしてLEDバルブが点灯すれば完了です。
- 2.正常な状態であれば、バルブの取付状態とカプラー接続状態の確認後、取外した部品をもとに戻して作業終了となります。
※作業終了後は、必ず、光軸調整を行ってください。

○ヘッドライトテスター測定時の注意事項

ヘッドライトテスターのオートモードでの検査をした場合、ヘッドライトテスターの仕様や設定により不適合となる場合があります。弊社としては手動(目視検査モード)にして測定を行なう事を推奨します。

車検対応の色度について

- この度は、本製品をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。
- 下記グラフは、日本工業規格(JIS規格)D5500の白色範囲をグラフ化したものです。
色度測定を行い、太線の枠内に入る場合は、白色として認められます。
- この書類は、本製品をご使用いただく間、必ずお手元に保管してください。

